

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-104

学校名・団体名	御船町立木倉小学校
HPアドレス	http://es.higo.ed.jp/kinokuraes
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	体ぽかぽか 心ぽかぽか 元気アップ 体育プロジェクト
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>昨年4月、熊本地震により大きな被害を受け、多くの子ども達が避難所生活を強いられるとともに、公園やスポーツ施設が避難所や仮設住宅になったことから、子ども達が思いっきり体を動かして遊んだり運動したりすることができなくなってしまった。</p> <p>地震後の子ども達の様子から、友達と仲良く夢中になって運動をすることが、子ども達の地震によるストレスを軽減させるとともに、心のケアにつながると考えた。また、限られた条件（スペース）の中で日常的に運動ができる環境を作っていくことが子ども達の体力向上にもつながると考え、体育プロジェクトに取り組んだ。</p>	

1 設定の理由

小学校体育科において、平成20年1月の中央教育審議会答申の中の、体育科改善の基本方針の中に、「心と体をより一体としてとらえ、健全な成長を促すことが重要」と示されている。また、体育科の目標の解説に、「心と体を一体としてとらえた指導が重要であり、心と体の発達の状態を踏まえて、運動による心と体への効果、健康、特に心の健康が運動と密接に関連している事などを理解することが大切」と記してある。

このようなことから、熊本地震の影響で子ども達が活動をする場所が制限されている中、十分な運動量を確保する体育授業作りや子ども達が日常的に運動をする環境作りを工夫して行っていくことが、地震による子ども達のストレス軽減につながるとともに、子ども達の心の安定及び体力向上にもつながると考え、体育プロジェクトに取り組んだ。

2 体育プロジェクトの活動時期

時期	内容	関係者及び参加者	備考
7月初旬	3年 走・跳の運動 (授業実践)	学校・行政 22名	授業検討会
10月初旬	2年 ゲーム (授業実践)	学校・行政・学校ボランティア 23名	授業検討会
10月初旬	4年 走・跳の運動 (授業実践)	学校・行政・学校ボランティア 23名	授業検討会
11月下旬	5年 ボール運動 (研究発表会)	熊本県下小中学校教諭等 約80名	研究紀要等 配付
1月~2月	教育論文・報告書作成	学校 21名	

全校体育実施

3 体育プロジェクトの実際

(1) 体育授業の充実

① 身に付けさせたい学習内容を明確にした授業

作り

身に付けさせたい学習内容と児童の実態から、授業で指導する技能のコツやポイント等をより具体的に書き出し、単元の中で、「いつ」「何を」「どこで」「どのように」指導をするかを事前に計画して指導していった。

また、1単位時間の中で、技能のコツやポイントを指導する「直接的指導」の場面を設定し、実践していった。直接的指導場面では、技能のコツやポイントを共有する際の言葉を、児童にとってイメージしやすい言葉 (イメージ言葉) で想定し、指導する際に活用していった。

② 児童が生き生きと活動するような場作り・教具等の工夫

運動に対して苦手意識を持っている児童も、意欲的に運動に取り組めるような教材、場づくり・教具を工夫して行った。

低学年 (2年生) においては、意欲的にボール投げ運動に親しむことを目的として、海賊になってお宝をゲットするというストーリー性を持たせた場を設けた。『島を探検してみよう』の中で、「宝箱にコインをため→魔法の玉のパワーを手に入れ→船で島をまわる」という3つの場で獲得した技能を生かして、宝島で『お宝ゲットだ！パワー全開ボール投げゲーム』を行った。

高学年 (4年生) においては、ミニハードルを走り越えるためのポイント (「一定のリズム」「低く」「スピードを落とさずに)」を見つけて、自己の課題を解決するための練習の場を設定した。ダンボール箱を斜めに切って加工したミニハードルを使用することで、安心して走り越えることができるようにした。また、自然と大股で走り越えるようになるために、幅を調節できるダンボール製の可動式ミニハードルを設置して、取り組ませるようにした。

5 学習課題をつかむ

6 1つの場で練習する

★直接的指導

・上手にバトンパスをしている児童に試技をしてもらう。

・「腕・体の向き」と見る視点を与えて、「技能のコツやポイント」を見ていた児童から引き出し、共有化する。

バトンパスのひみつを見つけよう!

課題解決の情報 (技能のコツ・ポイント等) を、児童から引き出し、共有化する。

※児童がつかまっている課題について、授業の終末で解決の情報を伝えるのではなく、展開の途中に情報を共有する場面を設定した。

バトンパスの時、腕や体の向きはどうなっているか、見てみよう。

気付いたことを友だちと話し合おう。

腕は真っすぐだったよ。

視線も体も前を向いていたね。

イメージ言葉「腕ピン」「へど前」「目・前」

7 次の場で練習する

8 リレー練習タイム

9 試しのリレー

29分 展開中

